

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110040	XXX110040			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
資源とエネルギー	澤口 晋一	2	前期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

この科目は履修水準Bとして位置づけであり、2年生以上の履修が望ましい。

現在のあらゆる物質文明はエネルギー資源（特に化石エネルギー）の利用によって支えられている。このことは換言すれば、エネルギー問題は人類の将来を支配する問題でもあることを示している。にもかかわらず、皆さんには（私たちは）資源やエネルギーとそれが抱える問題について体系的に勉強するという機会はほとんどなかったはずである。将来にわたって持続可能な社会を実現していくためには、ひとり一人が資源エネルギーに関する一定の知識を持つことはきわめて重要なことである。本講義ではエネルギー資源の種類や性質等に関する基本的な事項を概説したのちに、エネルギー資源に関するいくつかの問題を取り上げ考えてみたい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】地球の歴史と資源の生成
【前・後】事後：配布資料の確認

第2回

【授】資源の種類と分類
【前・後】配布資料の確認

第3回

【授】現代の資源エネルギー問題①
【前・後】配布資料の確認

第4回

【授】現代の資源エネルギー問題②
【前・後】配布資料の確認

第5回

【授】エネルギー資源の種類とその利用
1. 化石エネルギー
1) 石油

【前・後】配布資料の確認

第6回

【授】2) 天然ガス
【前・後】配布資料の確認

第7回

【授】3) 石炭
【前・後】配布資料の確認

第8回

【授】4) 非在来型資源：
①タールサンド、オイルサンド ②シェールガス、メタンハイドレート
【前・後】配布資料の確認

第9回

【授】再生可能エネルギー
①我が国の再生可能エネルギー政策とその変遷 ②太陽光 ③風力

【前・後】配布資料の確認

第10回

【授】④バイオマス ⑤地熱

【前・後】配布資料の確認

第11回

【授】原子力①

【前・後】配布資料の確認

第12回

【授】原子力②

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第13回

【授】原子力③

【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。

第14回

【授】原子力④

【前・後】配布資料の確認

第15回

【授】まとめ：日本のエネルギー政策とその問題点－エネルギー基本計画批判－

【前・後】配布資料の確認

第16回

【授】試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	40	40					80
小テスト・授業内レポート	10						10
宿題・授業外レポート		10					10
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

教科書参考書

特に指定しない。資料を毎回配布する。

受講に当たっての留意事項

最初にも述べたように、この授業は履修水準Bの科目で、世界地誌や地球環境論をすでに履修し、基本的な知識を有していることを前提としているので、2年生以上の学生の履修が望ましい。

学習到達目標

資源、エネルギーの現状および問題点について一通り把握し理解できるようになること。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習